

# 尾ノ上の風 II 第19号

学ぶ きたえる 助け合う

文責：校長 村上 正祐



## 心をひとつに 燃えた尾ノ上小

10月4日の運動会は、早朝からたくさんの応援ありがとうございました。前日からの準備に加えて、当日もたくさんの方々に残っていただいて片付けを手伝っていただきました。この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。また、感染症対策にPTA役員やボランティアで参加していただいた皆様には、受付や消毒に携わっていただき本当にお世話になりました。ありがとうございました。

感染症対策で、種目や運営などを大幅に変更した運動会でしたが、工夫次第で子どもたちのがんばりや達成感を味わうことができるという新しい発見をした運動会でした。1年生から6年生までの団体競技や表現は、これまでの運動会とは一味も二味も違った新鮮さを感じました。得点を競う紅白対抗もない、優勝旗授与もない運動会でしたが、スピーディーに進行するプログラムに心地よさを感じました。その他、私個人としては徒走に目が行きました。コロナ禍で、いつもマスク姿ばかりしか見ていなかった子どもたちが、素顔で勢ぞろいするのは実に新鮮であり、全力で走る姿や転んでも誰一人あきらめることもなく走っていた姿に感動を覚えました。大きな行事をひとつ終え、充実の2学期に向けてまた来週から気持ちを切り替えてすごしてほしいと思います。



新種目の4年ソーシャルディスタンスリレー(上)とプログラムのトリを飾る伝統の6年表現の演技(下)のようす

### 登下校の様子が 危ない!!!

大きな行事に向けて意識がそちらに大きく向かっているときや大きな行事が終わったあとに、子どもたちの気持ちが少し緩む傾向があります。

毎年、行事が終わったあとや長期休業明けの時期になると、登下校の子どもたちの歩行の心配な様子についての連絡を受けることがよくあります。

これまでも下校時に児童が持っていた給食エプロン袋や手提げ、水筒などを手で回しているうちに友達に当たったり、車を運転しているドライバーの方がひやりとするようなことをしたりしたらしくご注意のお電話を受けたことがありました。一步間違えば、大きなけがにつながります。道路の歩行についても、特に下校の態度が良くない状態です。学校の門から飛び出すように出て行ったり、道路の白線を大きくはみ出しながら横一列で歩いたりしています。2年ほど前には、車から注意をしてくださった方に悪態をついた子どもがいたのでお電話でお知らせをいただきました。それぞれの学級に指導したのはもちろんですが、この学校だよりをお読みの皆様も遠慮なさらずに、子どもたちに声かけをしていただきたいと思います。ご家庭でもしっかりと理解させてください。どうぞよろしく願いいたします。